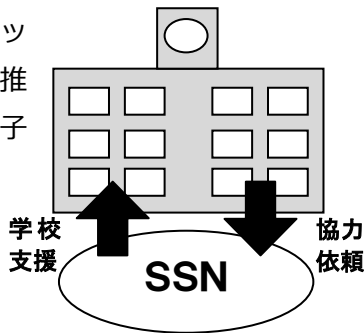


SSNとは？

さいたま市では「学校・家庭・地域・行政の連携」による教育を推進しています。

スクールサポートネットワーク（以下SSN）推進事業は「地域ぐるみで子どもを育てる体制」を整えることを目的としています。

SSNはいわば地域につくられた学校の応援団です。

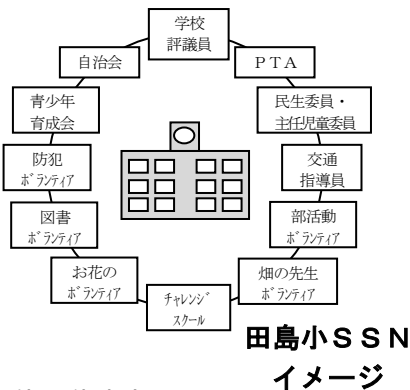


田島小のSSN

SSNを推進するため、さいたま市の各学校では「SSN協議会」が設置されています。田島小のSSN協議会は学校評議員の他に地域や学校を支援するボランティアの団体の代表者、チャレンジスクールの代表者等で構成されています。

協議会ではボランティア活動の情報の共有化や学校支援体制の充実を図るための会議を行っています。

平成 27 年度は 7 月 14 日（火）に開催され、現SSNの課題について活発な議論が行われました。



SSNの活動の一部を紹介します！

① 畑の先生ボランティア

田島小のはす向かいにある「田島小農園」をご存知でしょうか？

この農園を利用して、低学年の生活科等の学習のため野菜を栽培しています。

その指導をしてくださっているのが、地域の方々で組織された「畑の先生ボランティア」です。現在7名



やさしく丁寧なご指導です

の方が登録され、その豊富な知識と経験をもとに、児童に野菜の育て方を教えてくださっています。

今年はジャガイモ、トマト、ナス、^{しょうがいこん}聖護院だいこんなどを育て、これまで（9月下旬時

点）に収穫を迎えたものについてはおかげで大豊作となり、学習面の効果だけでなく児童の保護者にも大好評で喜ばれています。



話を聞く児童のまなざしも真剣

② 防犯ボランティア

児童の登下校時の見守りや、地域の巡回を通じ、通学区域全体の安全性を確保する目的で学校単位で組織されています。



田島小の防犯ボランティア組織はその発足が市内でも古い方で、それだけ多くの児童、地域の安全を見守ってきました。

現在38名の登録です。

田島小では主に登下校時に安全上、問題のある箇所で児童を見守っていただいています。また、交通ルールやマナー向上のための注意や指導をしてくださっています。

本当にありがたいことですね。



登下校時、感謝の気持ちを込めて元気にあいさつ

「田島小防犯ボランティア」がその活動を認められ、このたび第47回「シラコバト賞」を受賞しました。おめでとうございます。